

まちづくりの集いとは

「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」は、住民・職員が身近な地域や生活・暮らしの課題について共に考え、学びあう場です。地域で様々な活動を行う市民の事例をもとに“気づき”や“つながり”を持ち帰り、自分が暮らす地域に生かしていくことを目的として開催します。

誰でもお気軽にご参加いただけますので、ぜひお出かけください。

9:00

受付

9:30-9:45

開会式

9:45-11:50

基調講演

11:50-13:00

休憩

13:00-16:30

分科会

※詳細はホームページをご確認ください。

参加申込

締め切り：令和8年2月6日（金）

＜申込方法＞ 次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ① 右のインターネット申込専用フォームから申込
- ② 下記申込書に必要事項を記入の上、最寄りの地区公民館又は集会事務局へ提出（電子メール、電話、FAXによるお申し込みも可能です）

※手話通訳、要約筆記通訳、託児保育等が必要な方は事前調整が必要なため、お手数ですが、参加申込前にご相談ください。

●集会事務局

〒390-0811 松本市中央1-18-1 松本市中央公民館（Mウイング）

電話：0263-32-1132／FAX：0263-37-1153／E-mail：gakushu@city.matsumoto.lg.jp



申込専用フォーム

その他

- 松本市営中央駐車場（Mウイング北棟）は有料です。公共交通機関等でのご参加にご協力ください。
- 当日は写真や動画の撮影を行います。撮影したものは新聞や公民館報、松本市ホームページ、YouTube（松本市公民館公式チャンネル）等に掲載いたします。あらかじめご了承ください。

----- 切り取り -----

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い 参加申込書

- 開会式/基調講演、分科会の参加、不参加について、いずれかに「○」をつけてください。
- 分科会に参加する場合、希望する分科会の番号（1～5）をご記入ください。
- 手話通訳、要約筆記、車椅子利用、託児保育が必要な場合は、参加申込前にご相談ください。

氏名	住所	電話	
(ふりがな)	〒	FAX	
		E-mail	
備考欄（所属団体・役職・活動等）			
開会式・基調講演		分科会	
参加 / 不参加		参加（第 分科会） / 不参加	

【事務局使用欄】

受付日

受付番

第41回松本市公民館研究集会 令和7年度松本市地域づくり市民活動研究集会



未来へつなぐ 私たちの まちづくりの集い



2026.2.15 **SUN** 9:30～16:30
(9:00 受付開始)

松本市中央公民館（Mウイング）他

松本市中央1-18-1 電話 0263-32-1132 Fax 0263-37-1153



最新の情報はホームページを
ご確認ください。



主催：松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

主管：未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

基調講演

ばらばら × ひとつに 協働 = 新しい価値

●内容

一度きりの人生です。幸せになりたいですね。自分らしく（人と違うかたちで）生きること
も幸せですし、つながりの中で生かされることもまた幸せです。では「幸せ」を地域社会を単位に
して考えてみたらどうでしょうか。そこで暮らす人が自分らしく生きるばらばら（多様性）にあ
ふれる地域がいいのか、それともひとつにつながる（協働）地域の方がいいのか。この問いに、
対話と共感をテーマにして、一緒に納得のいく答えを探す講演会です。

●講師

はやさか じゅん

早坂 淳 氏

（長野大学社会福祉学部 教授）



みんなで進める物語！ 多様なアクターがつながる地域活動

第1分科会



価値観が多様化する現代社会において、既存のやり方で地域活動を持続することが難しくなっています。だからこそ、多様な「アクター（主体・役者）」が地域でつながり、課題解決等に向けた活動を進めることが大切ではないでしょうか？その利点や、実現のためのヒントをみんなで考えます。

第2分科会

みんなでつくる安心のまち ～暮らしを支える地域の仕組み～



誰もが取り残されず安心して暮らせる福祉のまちづくりには、公的福祉の仕組みだけでなく、住民自身が地域参画し、お互いに支え合う仕組みが大切ではないでしょうか。住民の身近な困りごとの解決に地域で取り組む事例を共有しながら、住民が役割を持ち支え合える安心のまちづくりについて考えましょう。

子どもの経験値を増やすコミュニティ・スクール ～大人になるまでにできること～

第3分科会

学校だけでは学べない貴重な体験の場を、地域と協働でつくる、それがコミュニティ・スクールです。コミュニティ・スクールを通じて得られる多くの発見や喜び、かけがえのない経験の積み重ねについて、実際の活動事例を基に、一緒に考えます。



第4分科会

みんなの「顔が見える」地域をつくろう！

隣近所の人の顔は見えていますか？これまで地域活動に参画することが少なかった住民（子どもからシニア層まで）もつながり、地域への愛着を深めながら「顔が見える関係」を築くことで、いざという時に助け合える地域になるのではないのでしょうか。事例学習とグループワークを通して、様々な世代が参画する地域づくりを考えます。

第5分科会

身近にある資源に気づく、地域と共に活かす ～流れを知り、視点を変える～

場所：サンプロアルウィン（松本市神林5300）

「地域資源」と聞くと、特別なものをイメージするかもしれません。3つの実践事例から、私たちが身近な地域資源をどう見つめ、つくり、発言し、つなげていくのか「自分たちの地域資源とは何か」を一緒に考えてみませんか。（当会場で午前中の開会式と基調講演をオンライン視聴できます。）

昨年度の様子

